

2023年3月期（第76期）

第2四半期 決算説明会

2022年11月9日

エステー株式会社

代表執行役社長 鈴木 貴子



① 決算概要のご報告

② 通期業績見通し

■ 減収減益

■ エアケア事業は堅調、防虫事業減少

■ 原材料高騰・為替変動が想定以上

■ 上期は手袋の販売価格引下げの影響

減収減益

	連結	売上比	計画比	前年比
売上高	234 億円	-	95.3%	99.9%
営業利益	16 億円	7.0%	94.3%	63.8%
経常利益	18 億円	7.9%	97.2%	68.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12 億円	5.2%	101.6%	66.0%
親会社株主に係る 包括利益	11 億円			

配当20円 (前期19円)

2023.3期Q2 業績ハイライト <連結>



	2022.3期Q2		
	実績	売上比	前年比
売上高	234億円	-	99.9%
売上原価	140億円	59.9%	103.9%
売上総利益	94億円	40.1%	94.4%
販売管理費	77億円	33.1%	105.2%
営業利益	16億円	7.0%	63.8%

2023.3期Q2 業績ハイライト <カテゴリー別売上高>



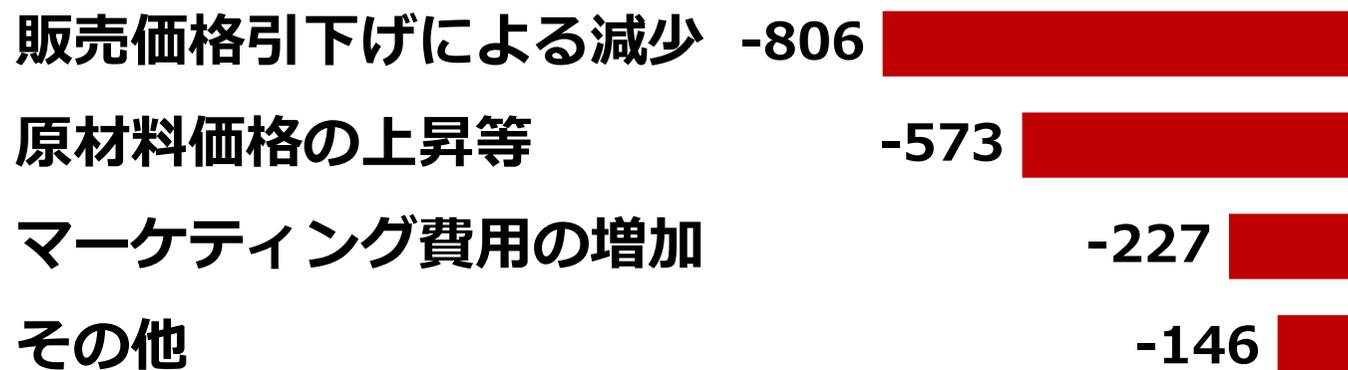
カテゴリー		売上高	構成比	前年比
エアケア	(消臭芳香剤)	107億円	46%	100%
衣類ケア	(防虫剤)	44億円	19%	93%
サーモケア	(カイロ)	11億円	5%	124%
ハンドケア	(手袋)	28億円	12%	100%
湿気ケア	(除湿剤)	19億円	8%	101%
ホームケア	(その他)	23億円	10%	103%
合 計		234億円	100%	100%

営業利益の増減 9.3億円減少

増加要因



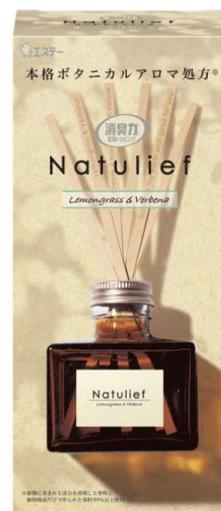
減少要因



単位：百万円

高付加価値品が堅調に推移

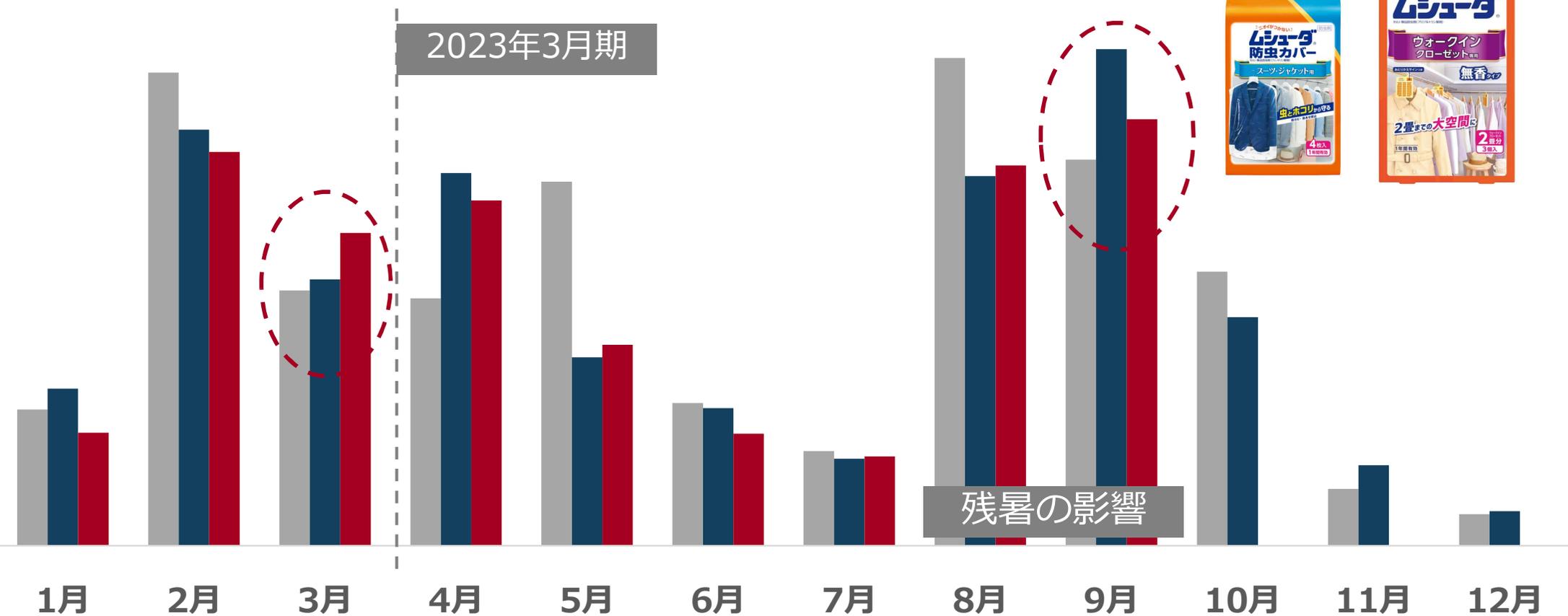
高付加価値品が堅調 新製品が寄与



春展開は前倒し 秋は需要後倒し

エステー 防虫剤月別出荷金額

■ 2020年 ■ 2021年 ■ 2022年



2023年3月期

残暑の影響

春の衣替えシーズン
マーケット 前年比 95.9%

秋の衣替えシーズン

衛生・内食需要は 引き続き好調

脱臭炭売上高	前年比	101.6%
米唐番売上高	前年比	110.0%
洗たく槽クリーナー売上高	前年比	106.7%



米唐番TVCMより



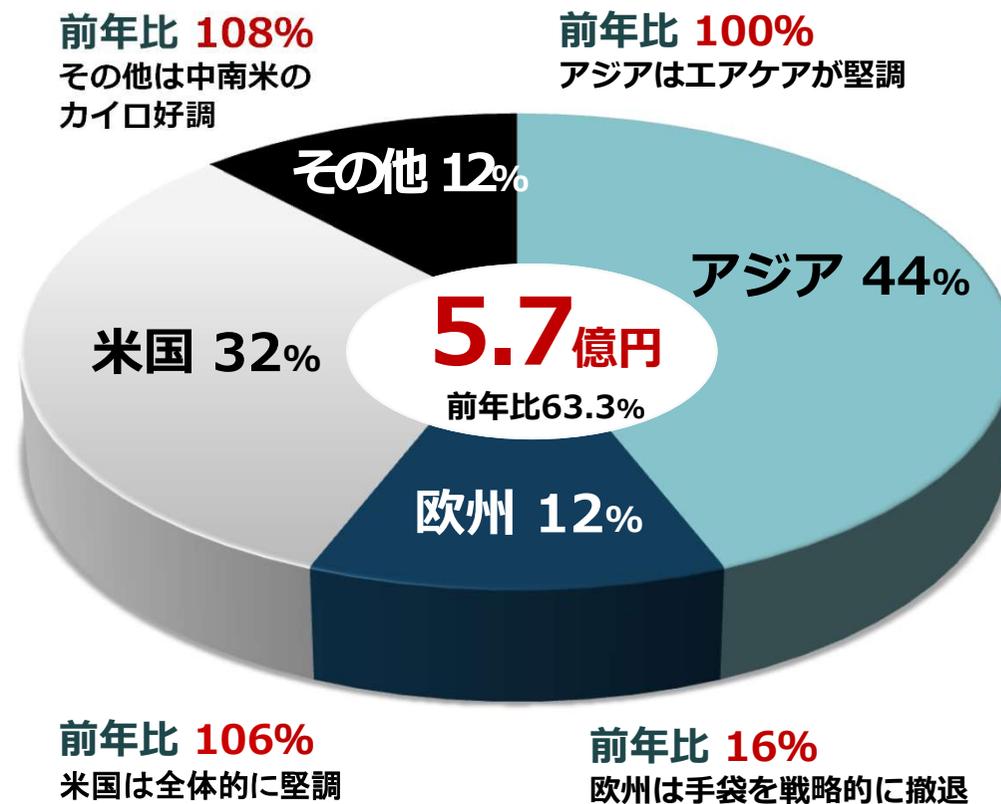
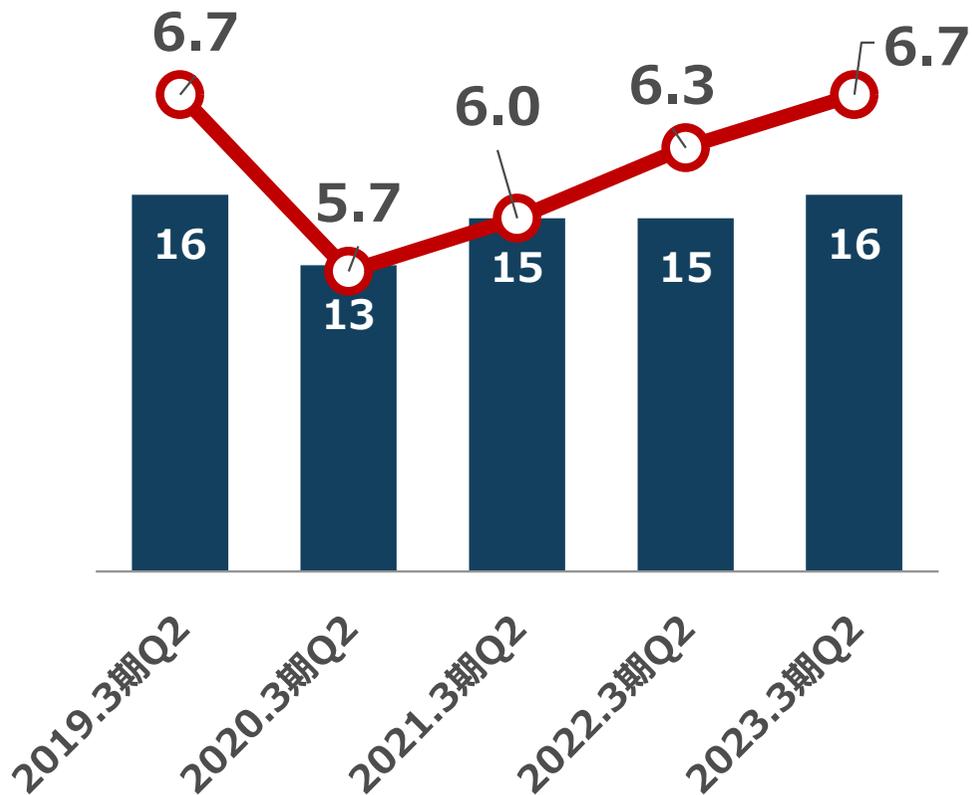
欧州 手袋事業から戦略的に撤退

海外売上高の推移(連結)

海外輸出売上高の構成比(個別)

単位:億円

■ 海外売上高(億円) ● 海外売上高比率(%)



売上原価率 想定以上に上昇

売上原価率

57.6%

(2022.3期Q2)



59.9%

(2023.3期Q2)

手袋の売価引下げ・原材料高騰・為替変動

① 決算概要のご報告

② 通期業績見通し

既存事業収益構造の抜本的見直し

成長領域へのリソース集中

事業開発体制の明確化

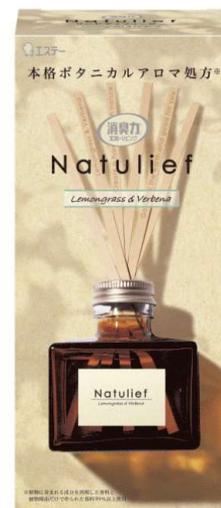
長期ESG戦略の策定と開示

エアケアNo.1 グローバル成長継続

高付加価値品の新製品

「消臭力 Natulief」育成

「消臭力」主力3品の販売強化



衣類ケア 主力事業の盤石化

’22秋季 後半の需要取り込み

’23春季 デジタル販促×店頭強化

多様な購買行動への対応



成長分野であるペット事業を強化

品質課題を解消 下期に再スタート

国内の認知拡大・海外販売体制強化



コストアップ^o吸収策

商品ミックスによる改善

1月から一部製品の値上げ開始

コストダウンの取り組み



環境関連の取組みを実施

主力品に再生プラスチック使用

北海道の森林整備事業に参画



ガバナンス体制の強化

リスクマネジメント体制の強化

各種委員会体制の拡充

事業投資の仕組みを強化



リボーン元年 <土台づくり>

	連結	前年比
売上高	475億円	104.5%
営業利益	25億円	78.4%
経常利益	28億円	81.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	19億円	171.3%

配当 40円 予定

*配当性向 46.8%

愛される会社を目指して



エステー株式会社 <https://www.st-c.co.jp/>

【見通しに関する注意事項】 当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。